



しながわくりつおおもりかいづかいせきていえん
品川区立大森貝塚遺跡庭園
(品川区大井6-21)

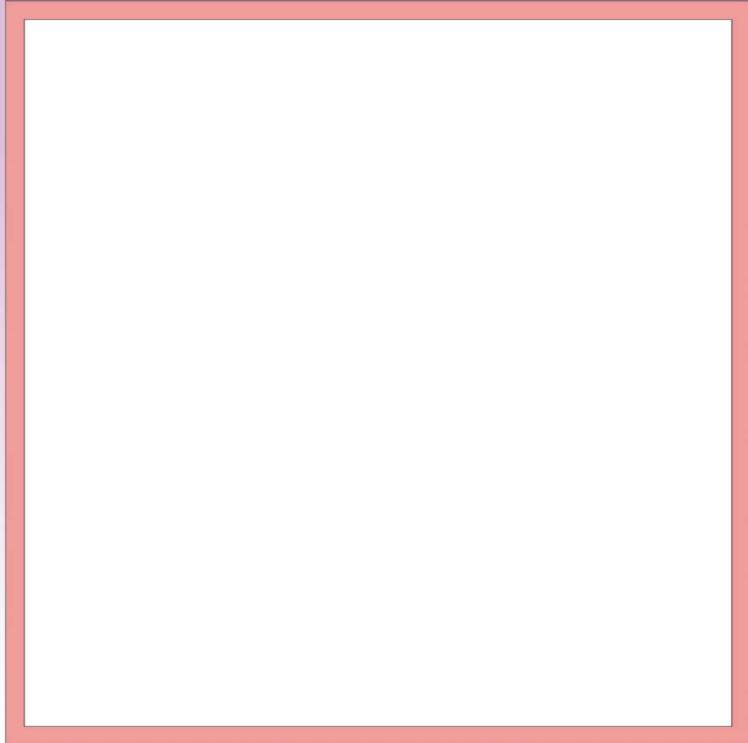
9 みんな楽しく学ぼう
大森貝塚遺跡庭園

昭和60年(1985)、大森貝塚に、大森貝塚遺跡庭園がつけられました。庭園の中にはモース博士の銅像や縄文体験広場、貝層の標本などがあり、縄文時代を楽しく学べるようになっています。

おおもりかいづかひ おおもりかいづかいせきていえん
大森貝塚碑 (大森貝塚遺跡庭園内)



大森貝塚のことがよく
わかったかな?最後に
記念のスタンプを押そう。



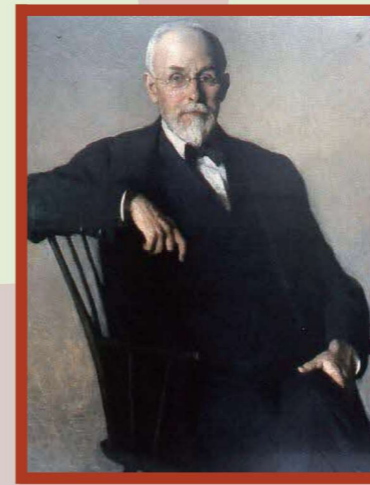
まな
学ぼう!!

モースがみつけた

おおもり かいづか
大森貝塚!



1 大森貝塚発見者?モース博士ってだれ?



エドワード・S・モース博士

大森貝塚とは、アメリカ人のモース博士によって日本で初めて科学的な発掘が行われた縄文時代の遺跡で、「日本考古学発祥の地」とわれています。

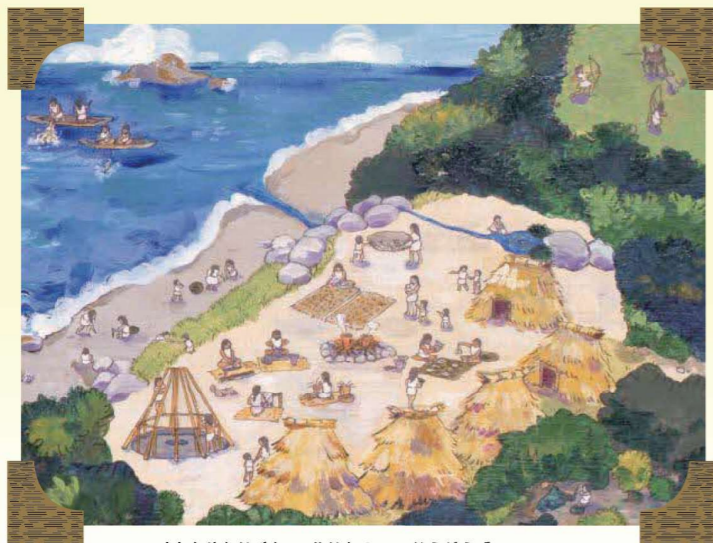
博士の名はエドワード・S・モース(1838-1925)とい、アメリカでは生物の研究をしていました。明治10年(1877)、横浜から東京に向かう列車の中から、大井鹿島谷の崖に貝層があるのを見つめました。これが大森貝塚です。

2 貝塚ってなんだろう?

貝塚とは、一言でいうと大むかしのゴミ捨て場です。貝塚には貝だけではなく、イシシなどの動物や鯛などの魚の骨、土器のかけらなど、大むかしの人たちが食べた物や使わなくなった物が見つかっています。貝塚を調べることで、当時の生活がわかります。



大森貝塚の貝層



大森貝塚の生活（想像図）

3 縄文時代ってなんだろう？

大森貝塚が作られた時代を縄文時代と呼びます。今から約1万3000年から2400年前の大むかしのことです。この大森貝塚は縄文時代でも終わりの約2400～4000年前にあたります。

4 縄文人はどんな家に住んでいたの？

大森貝塚からは6軒のたて穴住居跡が見つっています。たて穴住居とは大むかしの家です。地面に穴をほって床を作り、屋根には萱など乾燥させた植物を使っていました。1つの住居に4～5人が住んでいました。



たて穴住居の生活

5 縄文時代の道具はどんなものがあるの？

縄文時代といえば縄文土器です。土器とは粘土を使った焼き物で、土器の外側に縄などで模様をつけることから縄文と呼ばれます。壺や甕、ポットのようなものまで様々あります。その他に石・貝・木などの素材を使って、狩りや魚をとる道具やアクセサリーにしています。



縄文土器で煮たき

6 縄文時代の食べ物はなんだろう？

大森貝塚から大量の貝がらやイノシシなどの動物、鯛など魚の骨が見つっています。縄文人も私たちが普段食べるものと同じものを焼いたり煮たりして食べていました。さらに、動物の肉や木の实を使ったクッキーも食べていました。



大森貝塚の貝

7 縄文人のファッションはどんなもの？

縄文人は麻などの布で作った服やスポンを身に着け、冬には動物の毛皮を防寒具として着ていたとされています。また縄文人も

オシャレをしていたようで、大森貝塚からは土製の耳飾（ピアス）や貝の腕輪が見つっています。



土製の耳飾

8 土偶ってなんだろう？

土偶とは、縄文時代に作られた人形の焼き物です。一般的に女性をかたどったモノとされ、子どもがたくさん生まれることを祈るためやお守りなどとして使用されたと考えられています。



土偶